



月刊

# 社協だより

2021年  
12月号



発行：狩留家地区社会福祉協議会 編集：広報部  
広島市安佐北区狩留家町3144番地 TEL：844-0826

## コロナからの解放

コロナが世界を覆い、集会はだめ、密はだめと狩留家の田舎生活にもマスクを着用していました。あらゆる集会や催し物が中止され、狩留家の田舎町も火が消えたような沈黙の集落になって二年が過ぎました。

十一月の終わりにコロナの緊急事態宣言の中止が宣言されました。まだまだ若干の拘束はありますがほぼ自由に活動できるようになりました。

今まで消えていた狩留家の行事について最近行われた狩留家の行事を順不同で書き上げてみますと、

- ①社協理事会 ②ぬくぬく会(合同サロン) ③NP
- ④理事會 ⑤西八幡神社のお祭り ⑥東八幡神社のお祭り ⑦山神社のお祭り ⑧おしゃべりサロンの再開
- ⑨カラオケサロン ⑩飛龍 ⑪よがんす会 ⑫男の料理サロン “わっはっは” ⑬ゆつくり歩こう会 ⑭パソコン悠々サロン ⑮クラフ

十一月資源ごみ売上 一万四千元

## トサークル ⑮ベタンク大会 ⑯芋煮会 ⑰胡子まつり

⑱中須賀大明神の祭典等々まだ落ちていたものもあります。ざっと数えて十五のグループが活動開始しました。一つのグループで週一回とか月二回のところもあるのでほぼ毎日どこかで何かが動いていることになりました。こんな華やいだ狩留家の活動の再開です。大いに楽しみ、積極的に外に出て仲間と集い・語り・交流を深めましょう。

こんなことをかいている時に、「オミクロン株」が欧州で拡大とのニュースが入ってきました。最高の注意をしながら交流する術を私たちは学びました。

マスクを着用し、アルコール消毒をして、ある程度距離感を持ち、部屋の空気の流通を作り大人の交流をすることで、閉鎖社会にしない狩留家の交流を継続して下さい。(会長記)

## 理事会の報告(令和三年十二月十四日)

- 議題
- 一、地区社協活動拠点活性化支援事業について
- 二、狩留家なす創作料理発表会について(一月十日)
- 三、昔遊びの会(小学三年生との交流会)について(一月二十五日)

## 第四回芋煮会を開催

人前で賑わい、芋鍋、猪鍋もよく売れて、食べた人からは美味しかったと大好評でありました。



初冬の十一月二十三日、かるが芋煮会が開催されました。

当初は集会所祭りとして行う予定でありましたが、サロンの参加がなく、少しさみしい開催となりました。町内からの参加者が来られるか心配しましたが、開会の時間には家族連れが来てくれ、十二時には館内満席となりました。朝市の店も野菜を求め

## 「JKA」競輪補助金等が狩留家を支援

カフェーコーナーでもわいわいがやがや話が弾んでいました。舞台では、DVDで狩留家の歩みを紹介しました。さらに、カラオケに移り有志が歌を歌いムードを盛り上げました。おとりは狩留家の歌手がしめて、この会を終了しました。ご協力頂いた、男の料理教室・JAレディース・寡婦会の皆様に感謝申し上げます。

今年度、狩留家は数々の補助金や助成金を頂き狩留家活性化のための基盤づくりが出来ました。休眠預金活用事業による物流センターの建設を皮切りに、広島市の町づくり補助金では加工場の上物を作りました。又、狩留家体内では「クラウドファンディング」により町民の約三分の一の方々に支援を頂きました。続いてJKA(競輪補助金)では、「狩留家なす袋詰め機」や「冷凍庫」「真空包装機」に対する補助金を頂き、狩留家なすの加工食品化(六次産業化)出来るようになります。

